

シリンダカッタ

取扱説明書

CR-191E
CR-211E



も く じ

ご使用になる前に

- はじめに 1
- 安全のため必ずお守りください 2
- 各部の名称とはたらき 6
- 使用前の準備 7

ご使用にあたって

- 毎日作業前の点検 8
- 作業のしかた 10

知っておきたいこと

- 定期点検と調節 12
- 長期格納 15
- 不調の原因と処置 15

その他

- 仕様 16
- 安全確認一覧表 18

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんにご理解ください。




なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

■危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

-  **危険** ……もし守らないと、死亡または重傷事故を引起こします。
-  **警告** ……もし守らないと、重傷事故を引起こすことがあります。
-  **注意** ……もし守らないと、負傷事故を引起こすことがあります。

2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

- 重要** ……もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

■ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問い合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



警告

- 本機はわら・牧草類・残幹切断用として設計されています。この他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。



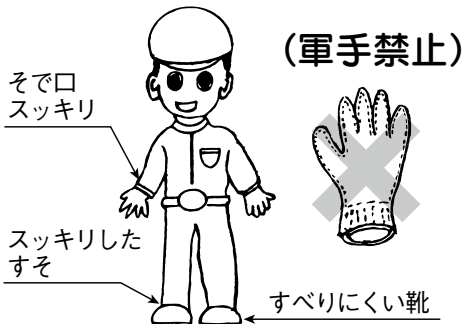
注意

安全のため必ずお守りください

使用前にこの取扱説明書とエンジンの取扱説明書をよく読み、理解する

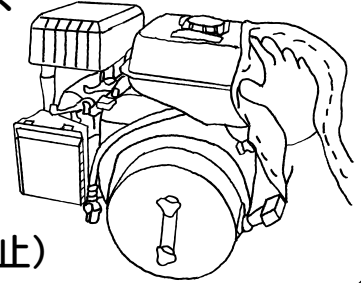
機械を他人に貸し出す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

作業に合った服装

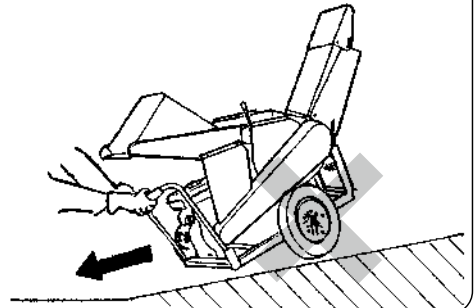


エンジンに附着したゴミ等は常に取り除く

(火災防止)



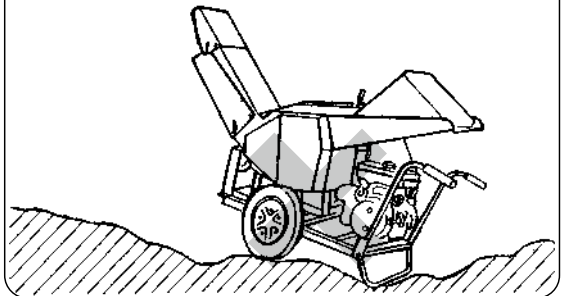
5°以上の傾斜地へは乗入れない



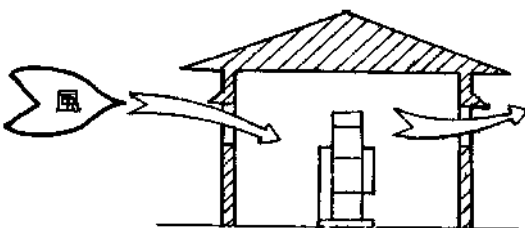
給油はエンジンを止めて、冷えてから、又周囲の火気厳禁 (火災防止)



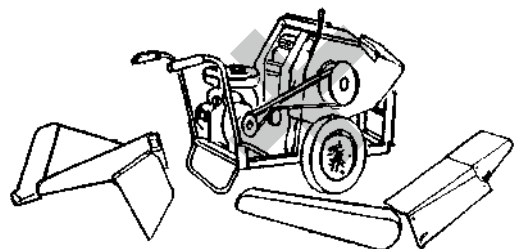
作業は水平でしっかりした場所で



室内換気の悪い所、暗い所では使用しない (中毒防止)

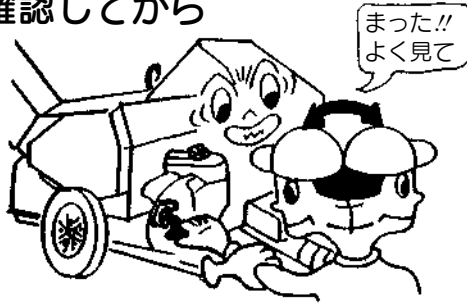


カバーは必ず取付けてから運転

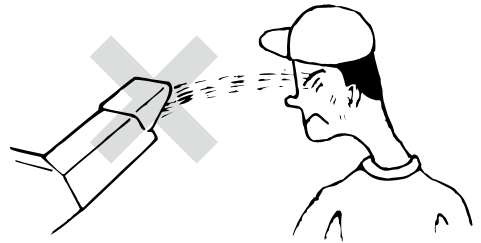


! **注意** 安全のため必ずお守りください

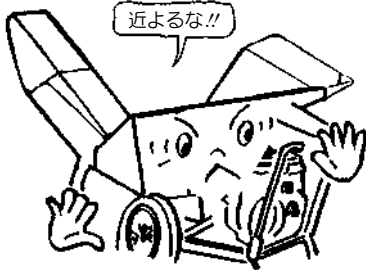
エンジン始動は周囲の安全を確認してから



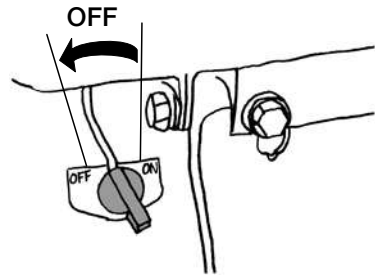
吐出口を人や家畜に向けない



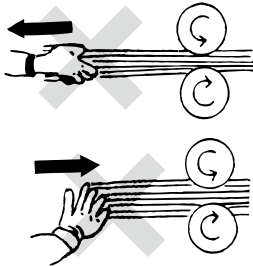
回転中は人を近づけない



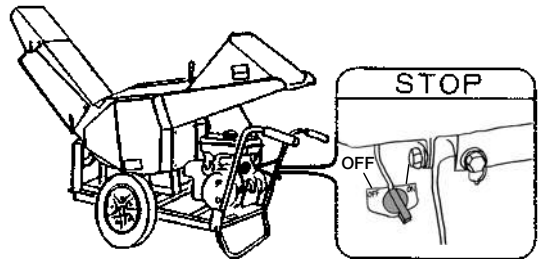
異状発生時はすぐにエンジン停止



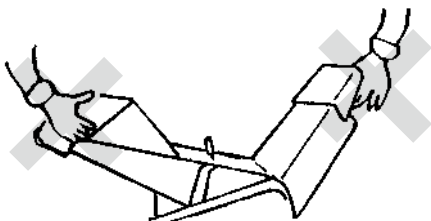
供給物を無理に引っ張ったり、押し込んだりしない



点検はエンジンを停止し、カッタが止まってから



回転中は供給口や吐出口へ絶対に手を入れない



エンジンの高温部には、絶対手を触れない

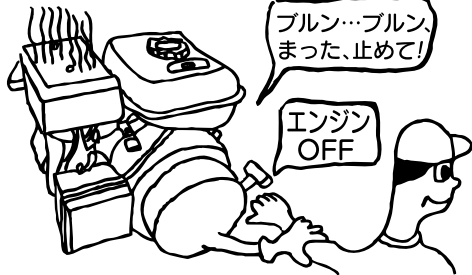




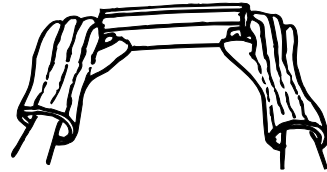
注意

安全のため必ずお守りください

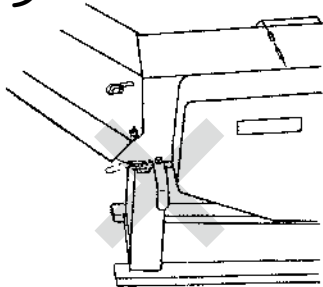
機械から離れる時はエンジンを停止し、冷えてから



刃物の点検・交換は厚手の革手袋着用



点検以外はロックレバーを必ずロック



⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

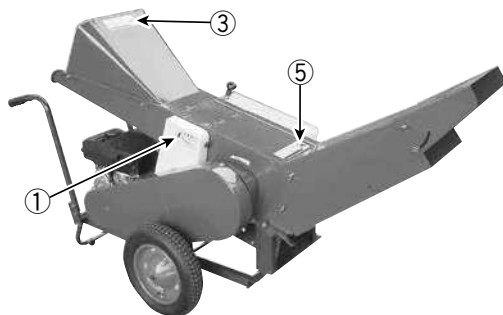
使用前に安全ラベルをよく読む

- カッタには次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。



①品番 57422-7119-1

	⚠️ 注意
	このカバーを外したままで使用しないこと。 中の回転物に巻き込まれることがあります。



②品番 71168-4121-1

	⚠️ 危険
	1. 中の回転刃によりケガをするおそれがあるので、回転中は中に絶対手を入れないこと。動力を切っても回転刃はすぐには止まりません。 2. このカバーを外したままで使用しないこと。
	⚠️ 注意
	人や家畜に吐出口を向けないこと。 切断物あたりケガをすることがあります。

③品番 71168-4118-2

	⚠️ 危険
	1. 中のロールによりケガをするおそれがあるので、回転中は中に絶対手を入れないこと。動力を切ってもロールはすぐには止まりません。 2. この供給口を開けたままで使用しないこと。

④品番 71131-4117-1

⚠️ 注意	
1. 取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。	
2. 取扱説明書がない場合は取寄せ下さい。	
3. 必ず動力部の安全カバーを取り付けて使用のこと。	
4. 点検整備時は、必ず動力を止めること。	
5. 点検整備で取り外したカバー類は、必ず元通り取り付けること。	

⑤品番 71168-4119-1

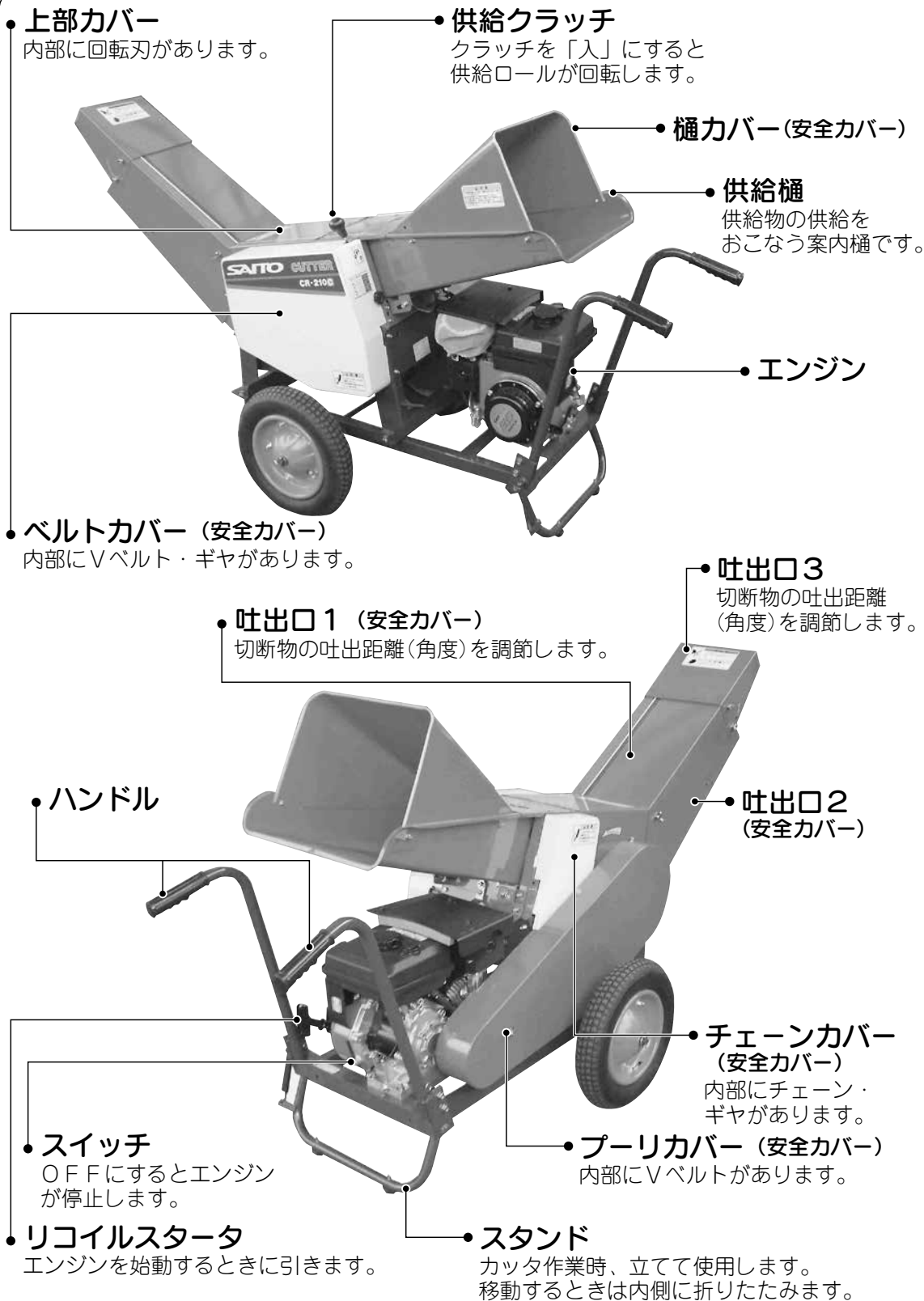
	⚠️ 危険
	1. 中の回転刃によりケガをするおそれがあるので、回転中は絶対にカバーを開けないこと。動力を切っても回転刃はすぐには止まりません。 2. このカバーを開けたままで使用しないこと。

⑥品番 71345-4114-1

⚠️ 注意	エンジンをかけるときは必ず走行クラッチ、カッタクラッチを「切」にすること。
--------------	---------------------------------------

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シンナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

各部の名称とはたらき



使用前の準備

⚠ 注意

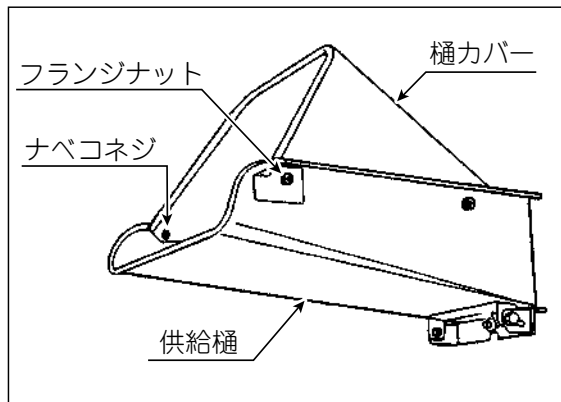
● 準備作業は必ずエンジンを停止した状態で行なってください。

1. 供給樋・樋カバーの組付け

① 供給樋に樋カバーを組付けます。

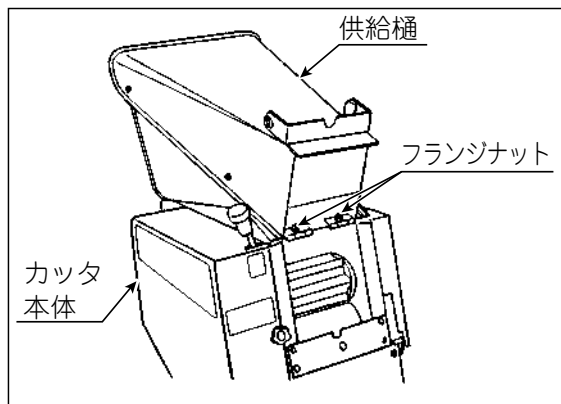
M6 × 14ナベコネジ…………… 4個

M6 フランジナット…………… 4個

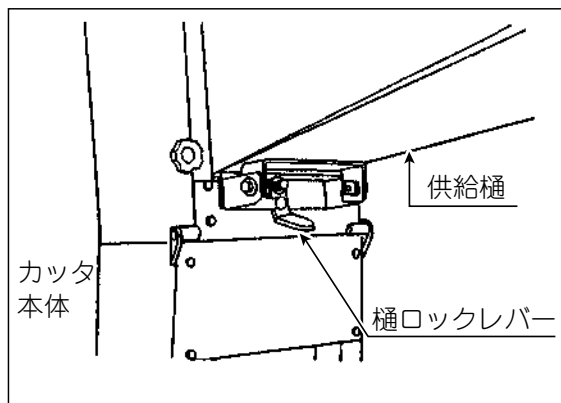


② 供給樋をカッタ本体に組付けます。

M6 フランジナット…………… 2個



③ 供給樋の樋ロックレバーでカッタ本体にロックします。



2. 吐出口1・2・3の組付け

① 吐出口1・2をカッタ排出部へ組付けます。

M6 × 12蝶ボルト…………… 4個

M6 平座金…………… 2個

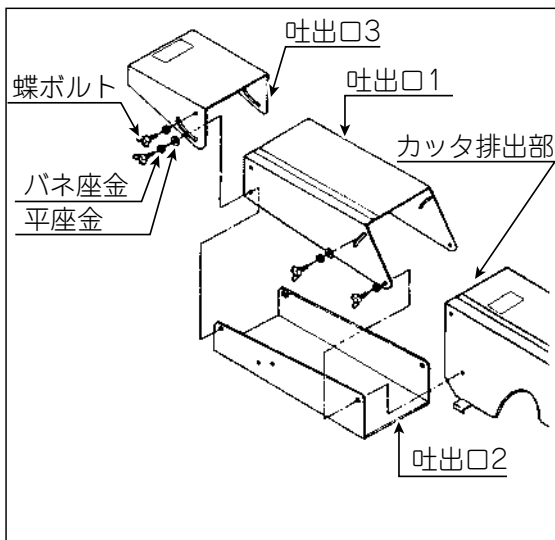
M6 パネ座金…………… 4個

② 吐出口3を吐出口1・2に組付けます。

M6 × 12蝶ボルト…………… 4個

M6 平座金…………… 2個

M6 パネ座金…………… 4個

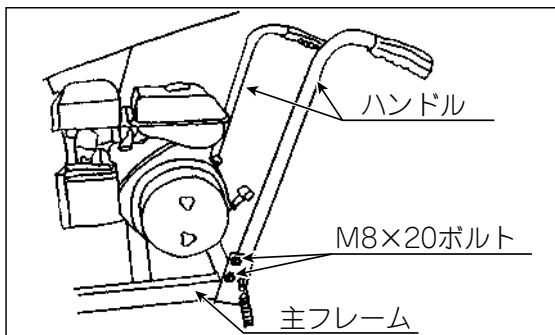


3. ハンドルの組付け

ハンドルを主フレームに組付けます。

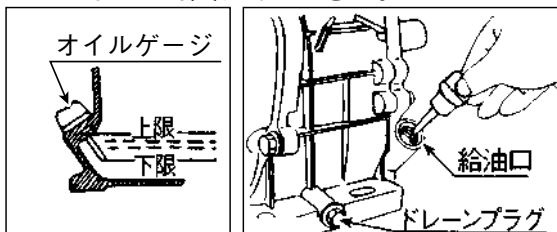
M8 × 20ボルト…………… 4個

M8 フランジナット…………… 4個

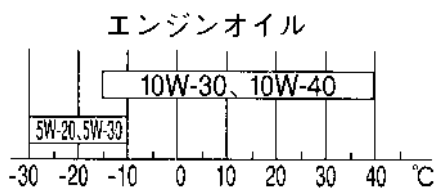


4. エンジンオイルの点検

オイルゲージを抜いて、先端をきれいにふきとります。もう一度差込んでから抜き出し、ゲージの上限にオイルがあるか調べます。不足しているときは、給油口より上限になるまで入れてください。



■エンジンオイルはSE級以上を使用し、粘度は気温によって下表のように使い分けてください。



5. 切断長の設定

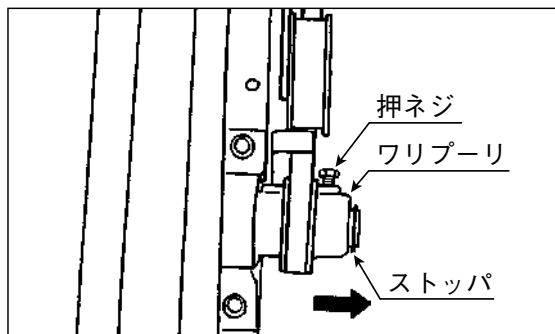
切断長さはギヤの入替えとフリプーリの組合せで4種類の選定ができます。

切断長さ調節表

		オプション			
	45mm	90	22	150	
	35mm	70	17	120	
	T33	T23	T42	T14	
	T23	T33	T14	T42	

■フリプーリの切換え

- ①供給クラッチを「切」にします。
- ②フリプーリの押ネジをゆるめフリプーリをストoppaに当たるまでスライドします。
- ③フリプーリの押ネジを締付けます。



毎日作業前の点検

⚠ 注意

- 点検作業は必ずエンジンを停止し、カッタの回転が止まってから行なってください。
- 点検で外したカバー類は、必ず元通り取付けてください。

1. 燃料の点検

⚠ 注意

- 燃料の補給は必ずエンジンを停止し、完全に冷えてから行なってください。エンジンが熱い間はヤケドや火災の危険があります。
- 火気の近くやくわえタバコでの燃料補給は絶対にしないで下さい。火災や爆発の危険があります。

- ①樋ロックレバーを解除し、供給樋を開きます。
- ②キャップをあけて燃料を補給します。

重要

- 燃料は自動車用レギュラガソリンを使用し、それ以外は使用しないでください。

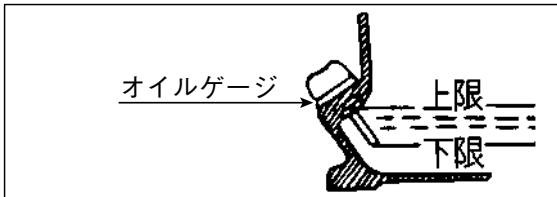


⚠ 注意

- 給油後キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいにふきとってください。

2. エンジンオイルの点検

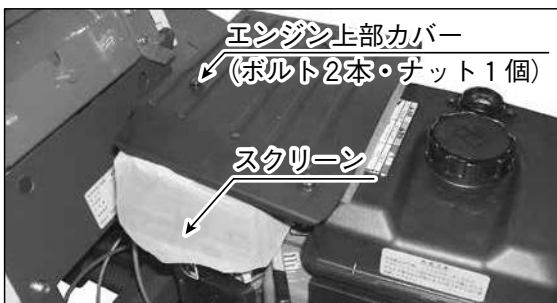
オイルゲージを抜いて、先端をきれいにふきとります。もう一度差込んでから抜き出し、ゲージの上限にオイルがあるか調べます。不足しているときは、給油口より上限になるまで入れてください。



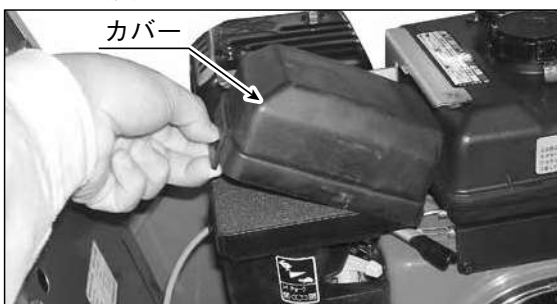
3. エアークリーナの掃除

毎日作業前にエアークリーナのエレメントを点検し、汚れていれば掃除してください。

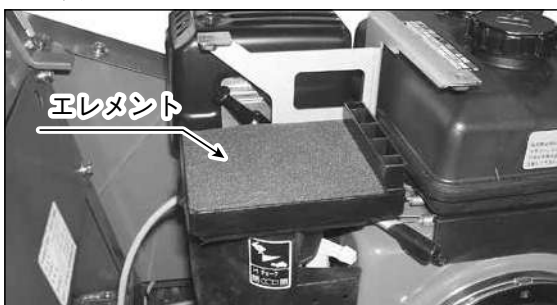
①エンジン上部カバーとスクリーンを取り外してください。



②エアークリーナのカバーを外し、エレメントを点検してください。



③エレメントの汚れがひどいとき、およびオイル分がなく乾いているときは、白灯油で洗浄後エンジンオイルに浸し、片手で固く絞ってください。



4. エンジン・カッタの掃除

エンジン・カッタ及びその周辺のごみ・切りわら等を毎日作業前にきれいに取除いてください。カバー内部のごみ溜まり等も取除いてください。

⚠ 注意

- 排エンジンの高温部にわらくず・ごみ等があると火災の原因となります。
- エンジンの冷却風の通路がごみ等でふさがると、過熱して火災の原因となります。

5. 刃物の接触

①カッタの主軸を手でゆっくりと回転し、回転刃と固定刃の接触がないか確認してください。もし接触があれば、すき間調節してください。(P 14参照)

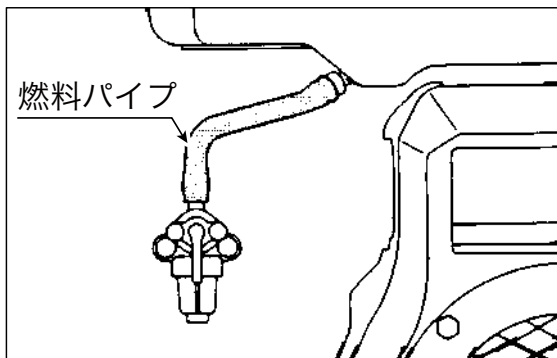
②刃物取付ボルトがゆるんでいないか確認してください。もし、ゆるんでいるときは締付けてください。そのほかのボルト、ナットのゆるみなど異常がないか確認し、異常があればそのまま使用せず、すぐに処置してください。(P 15参照)

⚠ 注意

- 刃物が接触したり、ボルトがゆるい状態では絶対に回転させないでください。刃物が欠けて飛散し、傷害事故になることがあります。

6. エンジンの燃料パイプの点検・交換

エンジンの燃料パイプ及びゴム類は3年毎(但し、必要に応じ交換)に交換してください。また、パイプ・ホース類が傷んだり、締付けバンドがゆるんでいないか、常に注意してください。

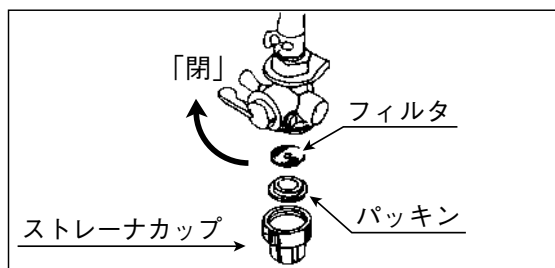


⚠ 注意

- 燃料パイプ等の劣化・傷により燃料がもれると火災の原因となります。

8. ストレーナカップの点検・掃除

- ①燃料がこぼれないように燃料コックレバーを「閉」にします。
- ②ストレーナカップをゆるめて取外し、カップ内部をガソリンで洗浄します。
- ③ストレーナカップを締付けます。このときフィルタとパッキンの組込みを忘れないでください。



作業のしかた

1. 移動

⚠ 注意

- 移動中は必ずエンジンを停止してください。エンジン回転中はカッタも回転していますので危険です。
- 本機には走行ブレーキが付いておりません。5°以上の坂道は危険ですから乗り入れないでください。
- できるだけ凹凸の少ない平坦な場所を選んで移動してください。

スタンドを内側に格納し、ハンドルを持って移動します。

2. 作業場所の選定

⚠ 警告

- 密閉した又は通気性の悪い所では絶対に作業しないでください。排気ガスが充満して中毒死するおそれがあります。
- 火気のある場所では絶対に作業しないでください。切断ワラ等に引火し、火災のおそれがあります。
- 水平で平坦な場所で作業してください。傾斜地や不安定な所では、作業中に移動したり転倒したりする危険があります。

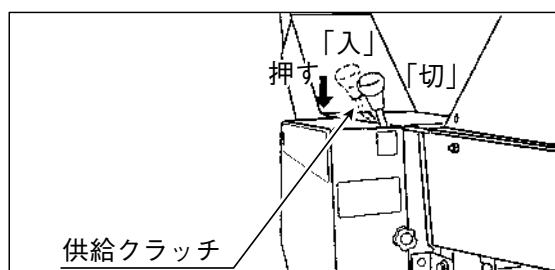
水平で安定した場所を選び、スタンドを立てて接地します。

3. エンジンの始動

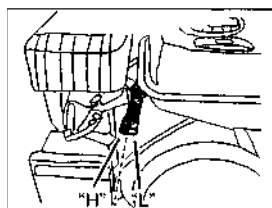
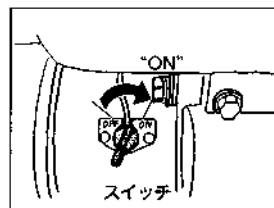
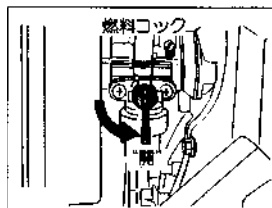
⚠ 警告

- 周囲の安全をじゅうぶん確認してから始動してください。エンジンの始動と同時にカッタも回転します。
- カバー類を外したままでエンジンをかけないでください。回転体に巻き込まれケガをします。
- 必ず供給クラッチを「切」にしてから、始動してください。

- ①供給クラッチを「切」にします。



- ②燃料コックを「開」にします。
- ③エンジンのスイッチを「ON」にします。
- ④アクセルレバー「L」と「H」の中間の位置にします。
- ⑤チョークレバーを「閉」にします。
(エンジンが熱いときは不要です。)
- ⑥リコイルスタータハンドルを引き始動します。始動したらチョークレバーを「開」にします。
- ⑦始動後3～5分間は負荷をかけずに低速で暖気運転を行なってください。



4. カッタ作業

⚠ 危険

- カッタ回転中は供給口・吐出口に絶対手を入れしないでください。中の回転刃で大ケガをします。

⚠ 注意

- 吐出口を人や家畜及び火気に向けしないでください。切断物が飛散して傷害事故や火災になることがあります。
- カッタの回転中は周囲に人を近づけないでください。特に子供さん達に注意してください。
- 作業中に詰まり等の異常が発生した場合は、すぐエンジンを停止し、カッタの回転が止まってから点検してください。
- 供給樋、上部カバーのロックレバーは必ずロックして回転してください。ロックしないとカバーが開きケガをするおそれがあります。
- 機械から離れるときは必ずエンジンを停止し、冷えるまで待ってからにしてください。
- エンジン回転中及び停止後10分位はエンジンに触れないでください。ヤケドをします。

- ①アクセルレバーを「H」にします。
- ②供給クラッチを「入」にします。
- ③供給物を供給樋に載せ、供給します。

⚠ 注意

- 軍手は使用しないでください。供給ロールに巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。
- 供給物を引っ張ったり、押し込んだり、付着物を手で取ったりすることは絶対にしないでください。
- 供給物に異物（石・工具・金属等）が混入しないように注意してください。突発的に思わぬ方向に飛散し、事故につながる可能性があります。

重要

- 直径20mm以上の残幹は絶対に供給しないでください。カッタが破損する恐れがあります。
- ワラ束が大きい場合は半分ずらして供給してください。
- 梱包牧草はよくほぐし、くい込み易いように先端を薄くして供給してください。

5. エンジンの停止

- ①供給クラッチを「切」にします。
- ②アクセルレバーを「L」にします。
- ③エンジンのスイッチを「OFF」にします。
- ④燃料コックを「閉」にします。

6. 放出距離の調節

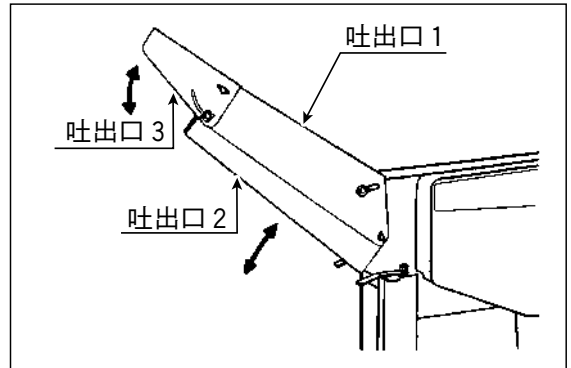
⚠ 注意

- 吐出口の調節は必ずエンジンを停止し、カッタの回転が止まってから行なってください。

切断物の放出距離は吐出口1・2、吐出口3の角度で調節します。

■重要

- 切断長120mm、150mm（オプション部品使用時）の場合は、吐出口3を水平より下げないでください。

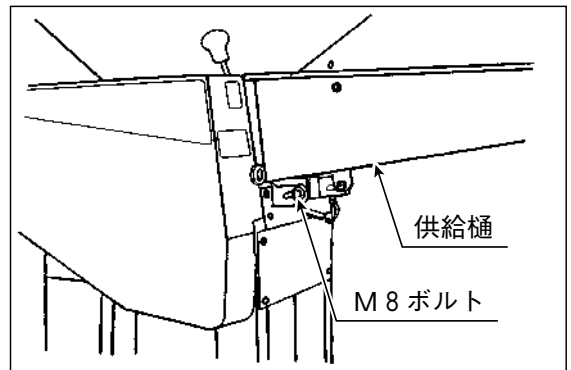


7. 供給樋の高さ調節

⚠ 注意

- 供給樋の調節は必ずエンジンを停止し、カッタの回転が止まってから行なってください。

供給樋のM8ボルトをゆるめ、作業しやすい高さに調節します。



定期点検と調節

⚠ 注意

- 点検・調整は必ずエンジンを停止し、機械の回転が止まってから行なってください。
- 外したカバーは、元通りに組付け、ボルト・ナットは確実に締付けてください。

- 定期オイル交換

⚠ 注意

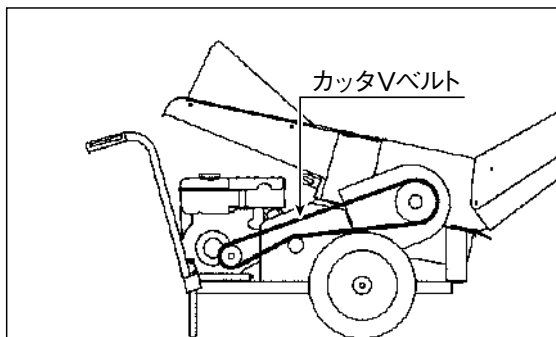
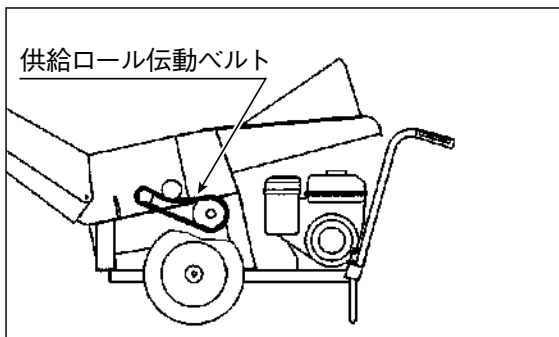
- オイルの交換・給油は火気のない場所で行なってください。

■給油・交換

項目	参照ページ	給油・交換時間	オイルの種類	給油量
エンジンクランクケース	P7・8	1回目 20時間 2回目以降 100時間毎	SE級以上	0.6ℓ

●点検・調節一覧

項 目	参照ページ	実施時期
刃 物	P 13、14	切れなくなったら
燃 料 パ イ プ	P 9	3年毎(但し、必要に応じ)交換
供給ロール伝動ベルト	P 13	20時間毎点検
カ ッ タ V ベ ル ト	P 13	50時間毎点検



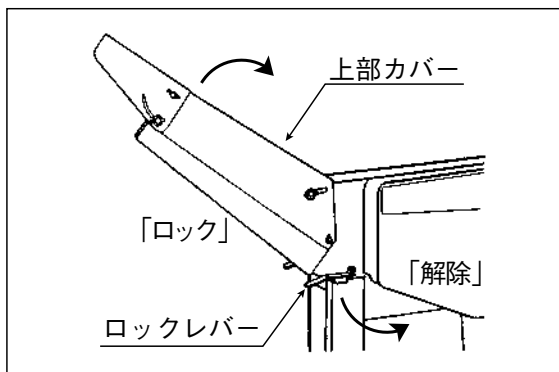
1. 刃物の交換・研磨と調節

注意

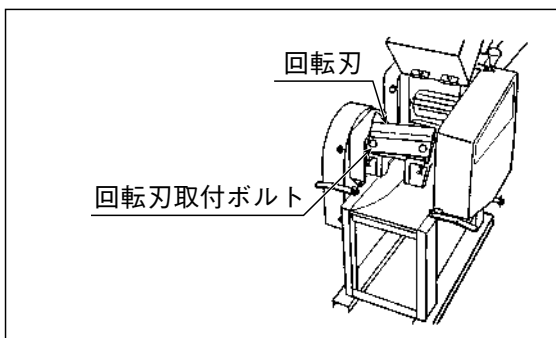
- 刃物の点検・交換・調節・研磨は厚手の革手袋を着用して行ってください。鋭利な刃先でケガをすることがあります。
- 刃物の交換・研磨時は、必ず刃のすき間を調節して、ネジを確実に締めてください。

■回転刃の交換

- ①上部カバーのロックレバーを解除し、上部カバーを開けます。

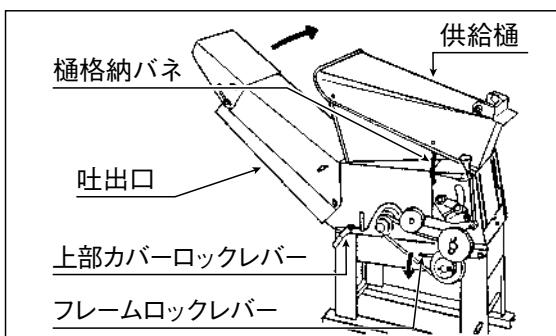


- ②回転刃取付ボルトを外します。
- ③取付けは取付面をよく掃除して、逆の順序で行ないます。

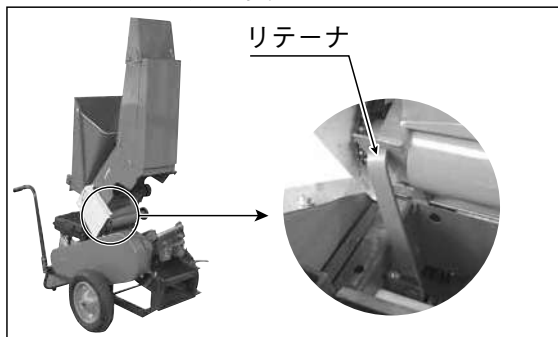


■固定刃の外し方

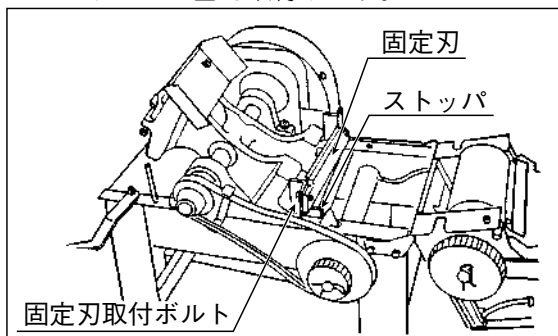
- ①ベルトカバーを開きます。
- ②樋ロックレバーを解除して供給樋を格納します。
- ③樋格納バネを樋カバーの穴部に差込みます。
- ④上部カバーロックレバーを解除します。



- ⑤ フレームロックレバーを解除して、吐出口を持ってフレームを開放し、リテーナをフレームの穴に確実に差し込みます。



- ⑥ 固定刃取付ボルトを外します。
⑦ 取付けは取付面をよく掃除して、固定刃をストップに当て取付けます。



■ 刃の研磨

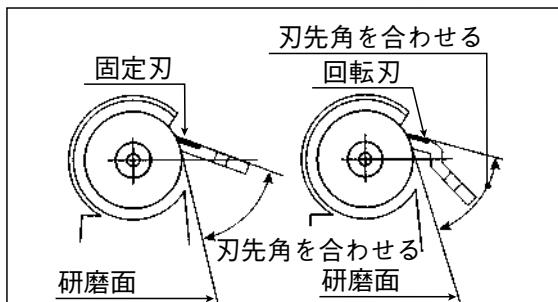
⚠ 注意

- 研磨時は火花が飛びます。必ず保護メガネを着用し、周囲の人・物に注意して安全に行なってください。

研磨機（水砥石）に刃物の刃先角を合わせて研磨します。

重要

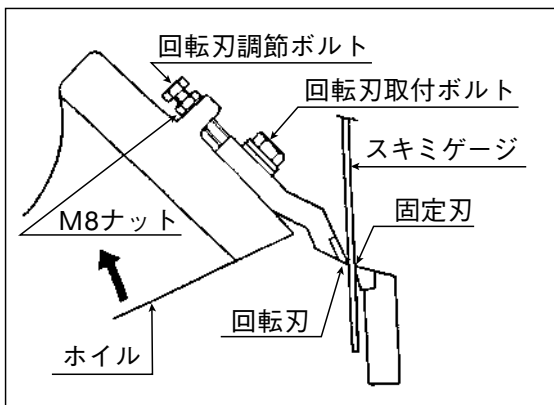
- 刃先の研磨面は間違えないでください。
- 回転刃は取外した面に同じ回転刃を取付けてください。すき間調節が楽に行なえます。
- 刃先が焼けないように注意してください。



■ 刃のすき間調節

回転刃と固定刃のすき間は付属品のスキミゲージで0.2～0.3mmに調節します。スキミゲージを固定刃に垂直に当て、回転刃を矢印方向に手で軽く回し、スキミゲージが刃物で軽くはさまれ通過する程度が適正です。刃のすき間は、刃の両端2箇所を確認してください。

- ① 回転刃取付ボルトをゆるめます。
- ② 回転刃調節ボルトのM8ナットをゆるめ、回転刃調節ボルトで回転刃を押し出して、すき間を調節します。
- ③ すき間調節後は、M8ナット、回転刃取付ボルトを確実に締付けます。
- ④ ほかの1枚も同様に調節します。



⚠ 注意

- すき間調節後は必ず手でホイールを逆回転し、刃当たりがないか確認してください。
- 外したカバーは元通りに組付け、ボルトナットは確実に締付けてください。
- 供給樋、上部カバーは確実にロックレバーでロックしてください。ロックしないで作業するとケガをするおそれがあります。

長期格納

⚠ 注意

- 機械の保管中にお子供さんが近よらないように注意してください。
- 機械は転倒しないような安定した場所で火気類のないところに保管してください。

- ①各カバーを外し、付着・堆積したわらくずなどを取除いてください。
- ②回転刃・固定刃を油ぶきしてください。また各回転部・支点・カバー内のテンションアーム支点部に注油し、錆びないようにしてください。
- ③ボルト・ナットなどのゆるみを調べ、ゆるんでいれば締付けてください。
- ④風雨のあたらない、ごみのない乾燥した場所へ保管してください。
- ⑤30日以上エンジンを始動しない場合は、燃料を完全に抜き取ってください。
- ⑥その他、エンジンについてはエンジンの取扱説明書をご覧ください。

不調の原因と処置

⚠ 注意

- 点検・調節は必ずエンジンを停止し、機械の回転が止まってから行なってください。

現象	原因	処置
カッタが回らない。	カッタベルトが外れている。	掛けなおす。
	ベルトがいたんでいる。	ベルトを交換する。
供給物が食い込まない。	束が大きい。	束を半分ずらす。
	供給量が多い。	供給量をへらす。
	小枝が広く張った残幹。	供給口の幅に合わせて枝を切る。
	残幹が太い（直径20mm以上）。	直径20mm以下にする。
切断部で詰まる。	ベルトがいたんでいる。	ベルトを交換する。
	供給量が多い。	供給量を減らす。
	カッタベルトがいたんでいる。	ベルトを交換する。
	回転数が低い。	回転数を高くする。
吐出口が詰まる。	刃物が摩耗し、切れ味が悪い。	研磨する。
	回転刃・固定刃のすき間が大きい。	刃のすき間を調節する。
	回転数が低い。	回転数を高くする。
	刃物が摩耗し、切口が連なり長いものが混じる。	研磨する。
	吐出口先端の押さえ過ぎ。	吐出口3を開く。
切断長が長い。	材量が軽く飛ばない	吐出口を上げる。
	湿った材料が付着する。	吐出口を下げる。
切断長が短い。	刃物が軽く飛ばない	吐出口を上げる。
	湿った材料が付着する。	吐出口を下げる。
異音・騒音がする。	油切れ。	注油する。
	ネジのゆるみ。	締付ける。

仕 様

	型 式	CR-191E	CR-211E
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1895	
	全 幅 (mm)	773	
	全 高 (mm)	1000	
	総 重 量 (kg)	100	103
カ ッ タ	毎時能率 (kg/h)	2500 (注1)	2800 (注1)
	はね出し機構	シリンダタイプはね出し型	
	はね出し距離 (m)	6 (注2)	
	切断寸法 (mm)	35・45・70・90	
	切断寸法切換機構	ワリプーリ+歯車交換	
	ロー ル 幅 (mm)	190	210
	カッタクラッチ	ベルトテンションクラッチ方式	
エ ン ジ ン	名 称	GB181LN-063	
	連続定格出力 kW(PS)/rpm	3.4 (4.7) /1800	
	最大出力 kW(PS)/rpm	4.6 (6.3) /1950	

注1 本仕様の毎時能力は、乾燥稲わらの切断長90mmの場合です。

注2 本仕様のはね出し距離は乾燥稲わらで切断長が90mmの場合です。生牧草類などの場合は記載仕様の1/2～1/3の距離になります。

※この仕様は、改良のため変更することがありますのでご了承ください。

オプション

■切断長切換えギヤ

下記のギヤを組合わせて切断長を17・22・120・150mmに切換えできます。

品 番	品 名
71168-91101	カエギヤ、アッシ (T14とT42ギヤのセット)
71168-91111	T14ギヤ
71168-91121	T42ギヤ

安全説明確認カード

説明者（販売店・農協）控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名



販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。	
3. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。	
4. 5°以上の坂道には乗り入れないこと。	
5. 水平でしっかりと安定した火気のない所で使用すること。	
6. 移動時はエンジンを停止すること。	
7. 燃料補給時の注意 <ul style="list-style-type: none">●必ずエンジンを停止し、冷えてから行なうこと。●火気の近くやくわえタバコでは絶対に行なわないこと。●キャップは確実に締め、こぼれた燃料はふきとること。	
8. 毎日作業前に点検・掃除を行なうこと。	
9. カバー類は必ず取付けてから運転すること。	
10. エンジンの始動は周囲の安全を確認してから行なうこと。	
11. カッタ回転中は周囲に人を近づけないこと。	
12. カッタ回転中は供給口・排出口の中に絶対に手を入れないこと。	
13. 吐出口を人や家畜、火気に向けないこと。	
14. 供給物を引っ張ったり、押し込んだりしないこと。	
15. 作業に異常が発生したときは、すぐにエンジンを停止すること。	
16. 供給物に異物が混入しないように注意すること。	
17. 機械から離れるときは、必ずエンジンを停止し、冷えるまで待つこと。	
18. エンジン運転中と停止後10分間はエンジンに触れないこと。	

【点検・格納について】

チェック

1. 点検・調整はエンジンを停止し、カッタの回転が止まってから行なうこと。	
2. 刃物の点検・整備するときは、厚手の革手袋を着用すること。	
3. 保管中には子供たちに触れさせないこと。	

安全確認一覧表

基本事項

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

作業について

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。
3. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。
4. 5°以上の坂道には乗り入れないこと。
5. 水平でしっかりと安定した火気のない所で使用すること。
6. 移動時はエンジンを停止すること。
7. 燃料補給時の注意 <ul style="list-style-type: none">●必ずエンジンを停止し、冷えてから行なうこと。●火気の近くやくわえタバコでは絶対に行なわないこと。●キャップは確実に締め、こぼれた燃料はふきとること。
8. 毎日作業前に点検・掃除を行なうこと。
9. カバー類は必ず取付けてから運転すること。
10. エンジンの始動は周囲の安全を確認してから行なうこと。
11. カッタ回転中は周囲に人を近づけないこと。
12. カッタ回転中は供給口・排出口の中に絶対に手を入れないこと。
13. 吐出口を人や家畜、火気に向けないこと。
14. 供給物を引っ張ったり、押し込んだりしないこと。
15. 作業に異常が発生したときは、すぐにエンジンを停止すること。
16. 供給物に異物が混入しないように注意すること。
17. 機械から離れるときは、必ずエンジンを停止し、冷えるまで待つこと。
18. エンジン運転中と停止後10分間はエンジンに触れないこと。

点検・格納について

1. 点検・調整はエンジンを停止し、カッタの回転が止まってから行なうこと。
2. 刃物の点検・整備するときは、厚手の革手袋を着用すること。
3. 保管中には子供たちに触れさせないこと。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求め下さい。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南1丁目1番10号
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 71306-5141-1